岐阜市総合交通協議会　（岐阜県岐阜市）

コンパクトな市街地が連携した都市の形成を目指して、地域の特性に応じた交通政策を推進し、中心部におけるBRTの導入や周辺部における地域住民が主体的に運営するコミュニティバスの運行により安定した輸送を確保。

（取組みの概要）

1. まちづくりと一体になった公共交通体系の整備

○人口減少社会を見据え、コンパクトな市街地が連携した都市を形成するため、「岐阜市総合交通戦略」や「岐阜市地域公共交通網形成計画」を策定。まちづくりと一体的に公共交通体系の整備を推進。　※平成27年度中に「地域公共交通再編実施計画」を策定予定

2. ICカードによって得られた情報の活用

○岐阜市民の2人に1人が所有するICカードを活用することによって、各路線の利用実態を把握した上で、過密度に応じた運行系統やダイヤの見直し等を実施

○「高齢者おでかけバスカード」を発行し、高齢者割引を行うとともに、高齢者のトリップ分析を実施。

3. BRTの導入等による安定した輸送力の確保

○利用者の多い路線を中心に、BRTやバス優先レーンの導入等の利用環境整備を積極的に実施することで、安定した輸送力を確保。

BRT

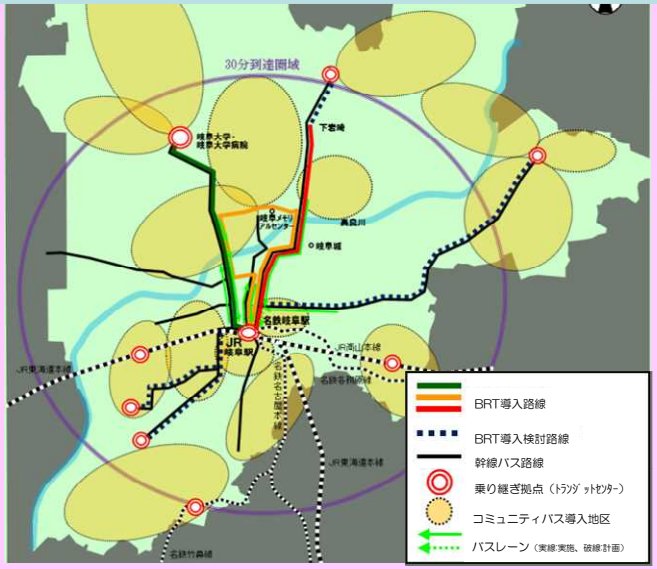
4. 住民が中心になって運営するコミュニティバス

○行政は地区の高齢者密度に応じて運行継続基準を設定

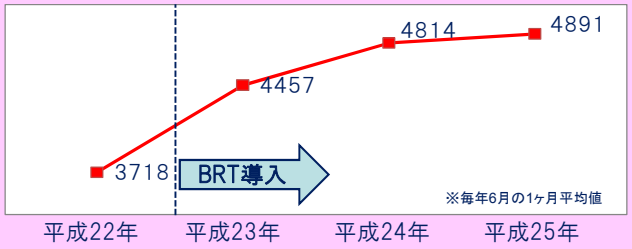
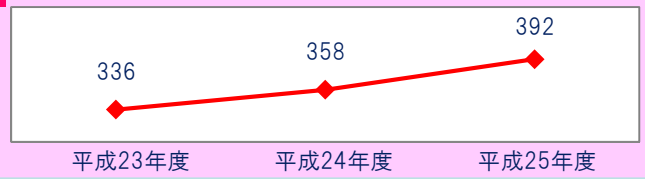
○住民は効率的な運行計画策定や乗降補助を行う「ヘルパーボランティア」の導入等の利用促進策を実施。

ヘルパーボランティア

岐阜市内公共交通ネットワーク（人口カバー率：96.3%）



効果1　事業者路線（岐阜大学・病院線）の利用者数（人/日）



効果2　コミュニティバスの利用者数（千人/年）